

徳島県教組×日教組香川共同企画

# 「森口健司が語る会」

～今語る、森口健司と同和教育の35年～

日 時 2016年5月28日(土)13:00 ～ 29日(日)12:00

場 所 白鳥温泉 香川県東かがわ市入野山465

TEL 0879-27-2236 FAX 0879-27-2302

**第1講(13:15～14:30)**

「差別・被差別を超える人権教育」(原田 彰 著)に学ぶ  
～1991年度郡同研・全道研・県同研の授業実践を通して～

**第2講(14:45～16:00)**

『今』『ここ』にある部落差別の現実に学ぶ人権教育  
～「ひとごと」から「わがこと」へをキーワードとして～

**第3講(16:15～17:30)**

「生徒が生徒を変えていく板野中学校の全体学習」  
～自己をみつめ、語り、仲間とつながるよろこび～

**第4講(8:30～9:45)**

「北島中学校で取り組んだ人権教育の営み」  
～語り合いの人権学習からつかんだもの～

**第5講(10:00～11:15)**

「自己の生き方や進路について語り合う人権学習」  
～語り合いの人権学習をめぐって～

講師について

森口 健司 (もりぐち けんじ)

徳島県板野郡藍住町立藍住中学校教諭

大学時代、京都での被差別体験が、教職へと思い強くし、卒業後、中学校教師になり、子どもたちの心に響く同和教育を模索する中、1990年度より中学校現場において、「生徒が生徒を変える、語り合いの人権・部落問題学習」(全体学習)を創造する。

また、1992年文部科学省道徳教育読み物資料作成協力者会議の委員となり、「中学校読み物資料とその利用」の作成にかかわり、道徳資料として部落問題をテーマに取り上げた「峠」「スダチの苗木」を著す。

2003年度より学校現場を3年間離れ、徳島県教育委員会生涯学習課派遣社会教育主事として、徳島県内の町や村において人権教育・人権啓発を担当する。

そして、2006年度より中学校現場に帰り、「語り合いの人権・部落問題学習」(全体学習)を実践している。

このような実践と共に、1996年度より広島大学教育学部で5年間「同和教育」演習、また、2005年度よりは愛媛大学教育学部で6年間「人権教育」の講義を担当するなど、様々な地域の小・中・高・大学等の学校現場や、社会教育の場において「自己をみつめ、語り、他者とつながる人権教育・人権啓発」に取り組んでいる。



参加費 宿泊者 10,000円 (但し、日教組組合員は無料)

講座のみ 一講座 1,000円 (但し、日教組組合員は無料)

定員 先着20名

問い合わせ先 日教組香川教職員組合 ☎ 0120-27-5925

あの森口健司が  
日教組に入ったってよ!!!